

日中友好シンポジウム
「日中が直面する諸課題とその対応に向けた協力関係」
公開シンポジウム
2009年10月20日-21日 於：ホテルニューオータニ



当研究所では、さる2009年10月20、21日の2日間にわたり、中国人民外交学会と共催で、日中友好シンポジウム「日中が直面する諸課題とその対応に向けた協力関係」（於：ホテルニューオータニ）を開催した。当研究所は中国人民外交学会と2007年より共催でシンポジウムを開催しており、今回で3回目となる。

国内外の有識者・専門家の参加を得て、4つの非公開セッション及び2日目の公開シンポジウムで、活発かつ有意義な意見交換が行われた。



「北朝鮮核開発問題及び北東アジア地域の安全保障に係る協力」のセッションでは、北朝鮮にとっての不安を解消し、6者会合を朝鮮戦争の休戦協定に替わる地域安全保障の枠組みにすることが核放棄につながるとの意見が出た一方、日本にとって核開発、拉致問題は脅威であり中国の影響力行使が足りな



いという不満があること、日中のゴールは同じでも時間意識や方法論に認識のずれがあることなどについて意見交換が行われた。

「金融危機を踏まえた日中経済協力」のセッションでは、金融危機後の積極財政により景気が過熱している中国経済のソフトランディングの問題、日中は同じエネルギー消費大国として協力する余地があるが双方の努力を必要とすること、当研究所が今春発表したアジア共通通貨に係る提言、



などについて意見交換を行った。東アジア共同体実現に向けて日中が大きな役割を果たすべきという意見がある一方、東アジア共同体の構成メンバーについては、日中間で意見が異なることもあった。



「日本の新政権の対中政策」のセッションは、今回特に中国側の要望であった。「西欧は霸道、東洋は王道」（孫文）の引用から、米国は霸道を求めたイラク、アフガン問題で停滞しているが、鳩山首相の“友愛外交”とは、孫文言うところの王道を求めるもので

あり、中国にも王道を求めるといった意見があった。また、東アジア共同体についてはまだ全貌や詳細がはっきりしているわけではなく、かつて主導権争いに



IIPS

より頓挫したこともあるが、具体的な取り組みを積み上げて関係国間の信頼を醸成すべき、という指摘などもあった。

「日中が直面する課題及び国民レベルでの相互理解の改善に向けた取り組み」のセッションでは、気候変動に係る日本の取り組みと日中協力、日本が中国にこれまで協力してきた環境保護、伝染病予防などにおける実績、民間・文化交流の取り組み



などについて具体的に報告があり、その後、特に「若年層の交流が重要である」こと、地域レベルでの交流の余地が大きいこと、メディアの姿勢や表現が与える影響などについて意見交換が行われた。



公開シンポジウム「日中が直面する諸問題とその対応に向けた協力関係」では、日本側パネリストから「日中関係については違いを認めつつ大局に立つべきこと、特に首脳レベルでの信頼関係の構築が重要であること」、「北朝鮮問題に関する両国間の認識ギャップ、東アジア共同体のすすめ方、中国経済のソフトランディング」、「双方が自国の民意を意識しながら





IIPS

平和研講演会シリーズ 2006
2006 IIPS Lecture Series
“国際的な信頼醸成と我が国の役割”

連携を深めるべきこと、環境問題について円借款に代わる枠組みが必要なこと」などが指摘された。中国側パネリストからは、「北朝鮮問題について北に安心感を与えるべき」、「日中関係発展のためには双方の心理的問題の解決が先決であり、中国は大国意識、被害者意識をなくし、日本は優越感とGDPで抜かれる焦りを捨て去るべき」、「日中の経済的連携を深めるにはハイテク技術移転、象徴的な大プロジェクト、中小企業の利便性向上、東アジア



共同体や中日FTAが必要であること、さまざまな懸念材料のうち景気の過熱対策、民生における社会保障を充実すべきこと」などが指摘された。



会議出席者については、中国側から李肇星全国人民代表大会外事委员会主任委員・外交学会名誉会長、楊文昌外交学会会長、嚴江楓中国国際戦略学会副会长、黄星原外交学会秘書長、王泰平前駐大阪総領事、田培良外交学会副秘書長、張雲方国务院発展研究センター研究員、劉江永清華大学国際問題研究所副所長、高洪社会科学院日本研究所副所長、周世儉





IIPS

清華大学中米関係研究センターシニア研究員、曾建華外交学会アジア・アフリカ・ラテンアメリカ部主任、徐沁外交学会研究部副主任、白泉国家発展改革委員会エネルギー研究所エネルギー効率センター副主任のほか約16名が来日し、日本からは3名の国会議員（山口壯衆議院議員、近藤昭一衆議院議員、林芳正参議院議員）のほか、発表順に志方俊之帝京大学教授、平岩俊司静岡県立大学教授、田中修日中産学官交流機構特別研究員、高見澤学日中経済協会企画調査部課長、清水美和東京新聞・中日新聞論説副主幹、西岡秀三国立環境研究所特別客員研究員、北野尚宏JICA東・中央アジア部長、門司健次郎外務省広報文化交流部長が参加した。